

# 第5回札幌市立小中学校適正配置審議会

日時：平成29年11月28日（火）9時30分～

場所：S T V北2条ビル4階 教育委員会会議室

## 次 第

1 開 会

2 議 事

札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針の見直しに係る答申について【最終確認】

3 閉 会

○事務局 皆さん、おはようございます。

本日はお忙しいところ、朝早い時間からお集まりいただき、どうもありがとうございます。定刻となりましたので始めさせていただきます。

本日は委員11名中11名御出席いただき、過半数である定足数を満たしておりますことを御報告いたします。

それでは会長、よろしくお願いいたします。

○会長 改めまして、おはようございます。

これから第5回札幌市立小中学校適正配置審議会を開会いたします。

本日の議題は、札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針の見直しに係る答申についての最終確認になります。

今日の審議会を迎えるに当たりまして、事前に事務局から前回の審議の内容を反映させた修正案が委員の皆さんのお手元に行っていたかと思えます。そこでの再修正意見を全て反映させたものが、今、お手元にある答申書の最終案になります。それをこれから皆さんと一緒に、一つずつ確認していきたいと思えます。

よろしいですね。

(異議なし)

○会長 それでは、事務局から修正箇所について、項目ごとに区切って説明してもらいます。

○事務局 おはようございます。

お手元の資料は本日初めてお見せしますので、まずは資料の確認をさせていただきます。

次第と座席表はこれまでと同様でございます。

資料1が、事前にいただいた再修正を含め全て反映させた最終版でございます。

資料2は、第4回からの修正を赤字で修正した部分、そしてさらにそこから委員の皆さんに事前に御確認いただいた再修正部分、黄色い網かけになっておりますが、その両方の部分がわかる見え消し版になってございます。

本日は、こちらの資料2を使って、委員の皆さんに御確認いただきたいと考えております。

それでは、資料2の2ページをご覧ください。赤字で修正した部分と黄色い網かけの部分があるかと思えます。

こちらは学校規模適正化の意義・目的の項目でございます。

まず【クラス替えによる教育効果】、こちらについては、前回の審議会では修正意見はございませんでした。

続いて【多様な人・価値観との出会いによる教育効果】、こちらについては修正意見がありましたので反映させております。読み上げますので御確認をお願いします。

◎いま社会が子どもたちに求めている資質のひとつにコミュニケーション能力があり、発達の段階において色々な人と出会いながら、人間関係形成能力を培うことが求められている。そのためには、日々の学校生活や学習活動の中で多様な考え方に出会い、互いを尊重しながら調整したり、昇華させたり、関わりを深め合うことが欠かせない。その観点からも多様な出会いがある学校規模は教育環境として重要であり、少子化、核家族化が進んでいる現代だからこそ、学校教育で力を入れていくべきところでもある。

◎子どもたちの成長の過程においては、大人との出会いも重要である。教職員にもある程度の人数がいることで、より多面的に子どもたちの良さに気づくことができ、支援が可能となる。

続きまして【教職員体制の充実による教育効果】、こちらも1文目には修正がございました。3ページに移って2文目に修正の御意見がありました。こちらも読み上げます。

◎中学校は教科担任制であることから、適正な学校規模を確保することで、全9教科において専門性を有した教員配置が可能となる。また、重要な教育活動のひとつである部活動においても、充実した指導体制を整えやすくなる。

以上でございます。

続きまして【その他適正な学校規模による教育効果や学校運営上の利点】、こちらも修正意見がございましたので、反映させたものを読み上げます。

◎教職員の体制が整うことで、学校運営において様々な社会的要請や課題が生じた際に、互いに支え合ったり連携したりしながら対処することができる。また、運動会や修学旅行など各行事の運営体制をより整備しやすくなり、児童生徒の安全・安心の確保にもつながる。

◎運動会や合唱コンクールなどの学校行事においても、一定の学校規模があることによって、児童生徒同士が切磋琢磨し、また集団での表現活動等の幅が広がり、多人数ならではの活気や迫力が生まれる。そのことが参加する児童生徒をはじめ、見学する保護者や地域の方々、すべての関係者にとって得難い経験となり、子どもたちの更なる成長を促す。

以上でございます。

○会長 ありがとうございます。

これから項目1について皆さんと確認しますが、その後の項目も全て、確認する部分は今読んでいただいた中の黄色い網かけの部分と赤でアンダーラインを引いて修正している部分に絞らせていただきます。

それ以外のところは前回確認しておりますので、そこに絞って進めていきます。

よろしいですね。

(異議なし)

○**会長** それでは、まず【多様な人・価値観との出会いによる教育効果】、この一つ目の二重丸の文章を読んでいただきましたが、「資質のひとつにコミュニケーション能力があり、発達の段階において」と表記を改めることについて、異議ございませんか。よろしいですか。

(異議なし)

○**会長** それでは、その部分はこれで確定いたします。

それから、二つ目です。

【教職員体制の充実による教育効果】、ここはたくさん御意見をいただいたところでした。前回いただいた意見を取り入れて、赤のアンダーラインの通りかなり大幅に修正しております。

改めてお読みいただいて、審議したことが十分に組み込まれているかどうか、それを御確認いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

皆さんうなずかれていますようですので、特に変更は必要ありませんか。

(異議なし)

○**会長** それでは、項目1については、これで確定し、答申することといたします。

それでは、引き続き、項目2の通学区域及び通学手段への配慮、ここも修正箇所が幾つかあります。説明よろしくをお願いします。

○**事務局** 修正があるのは、囲み部分の丸の二つ目でございます。読み上げます。

◎やむを得ず徒歩圏を超える場合の通学手段への配慮については、まずは公共交通機関の活用を優先的に検討し、公共交通機関の活用では通学が困難な場合など、やむを得ない場合に限りスクールバス等その他の手法も検討することが望ましい。

続いて《通学区域に対する考え方》は、修正ございませんでした。

次に《通学手段の配慮に対する考え方》、こちらは、1文目、2文目、ページ進んで4文目に修正がございますので、読み上げます。

◎札幌市全域を見渡したとき、特に周辺部においては、路線バスが必ずしも通学に適した経路や時間帯に運行されているとは限らない。そのため、今後の学校規模適正化の取組を進めるにあたり、通学手段の配慮は、公共交通機関以外の手法も含めて検討することが適切である。

◎徒歩による通学は前出のとおり教育上の意義が大きく、また公共交通機関を利用することによって社会性や自己管理能力を育むこともできる。そのため、「徒歩通学」「公共交通機関」「スクールバス等その他の手法」の優先順位で検討することが望ましい。

◎スクールバスは財政的な負担のほか、登下校時間の制約が大きかったり、学校における運行管理事務が増えたりするなどの課題もある。そのため、導入の可否や効果的な運用については教育委員会が一定の基準をもって判断すべきである。

以上でございます。

○会長 審議の中で、ここはかなり皆さん知恵を出していただいて文言を詰めていったことを思い出します。

まず、冒頭の四角の囲みの中の二つ目、スクールバスについてかなり議論しましたけれども、「やむを得ない場合に限りスクールバス等その他の手法も検討することが望ましい」という文言で最終的に確認したかと思いますが、これでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○会長 ありがとうございます。

続いて《通学手段の配慮に対する考え方》、一つ目、二つ目、それから四つ目、審議ではいろいろな意見が出ましたね。それを反映させたのがこの文章ですが、もう一度改めて目を通していただけますか。

それぞれ委員の皆さん御発言いただいたことが適切に織り込まれているでしょうか。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○会長 それでは、項目2の通学区域及び通学手段への配慮については、赤字で修正した案のとおりで答申することといたします。

こうやって一つ一つ確認していくと、ここのところで、この委員の方がこういうことを言ってくださった、とか審議したことを思い出しますね。

それでは、次の項目3と項目4、一緒にお願いしてよろしいですか。

○事務局 かしこまりました。

項目3の検討対象校、項目4の取組校の選定、こちらは、項目3の下に注釈を追加させていただきます。

読み上げます。

※ 上記「学級数」は通常の学級のみとし、特別支援学級を含まない。（次ページも同じ）

以上でございます。

○会長 ありがとうございます。

ここはたしか委員に御指摘いただいたところでしたよね。

○委員 ありがとうございます。

○会長 そうでしたね。すっきりした、わかりやすい表記になっているように思いますが、いかがでしょうか。

○委員 スピード感を持って対応いただいて、本当に感謝しております。

○会長 ほかの委員の皆さん、いかがですか。

○委員 確認です。「特別支援学級を除く」と書いているので、「通常の学級」の部分も「通常学級」と表記した方が良いのではないのでしょうか。

○会長 「特別支援学級」だから「通常学級」のほうがいいと。それはそろえた方がいいですね。

委員の皆さん、よろしいですか。

(異議なし)

○会長 それでは、「通常の学級」ではなく「通常学級」と表記することといたします。

事務局の方、よろしいですか。

○事務局 はい。

○会長 ありがとうございます。

最後の最後ですから、このようにご意見いただいて体裁が整っていくことは大変ありがたいと思います。

それでは、項目5の取組の進め方、これは下から2行目に修正があります。これは重要なところだと思いますので、御説明よろしく願いいたします。

○事務局 こちらは学習指導要領には、教育課程の編成は校長ではなく学校と記載されているため、それに表記を合わせる形で修正いたしました。

読み上げます。

◎検討の過程で統合新設校の教育内容に関する発言が出るのが想定されるが、統合新設校の教育課程は、学習指導要領等の関係法令に基づき学校が編成すべきである。

以上でございます。

○会長 今回の説明は、学習指導要領では校長ではなくて学校が教育課程を編成する、と表記されているとのことでした。それを受けての修正になります。委員よろしいですか。

○委員 はい。

○会長 今お聞きいただいたように、学習指導要領上の文言にそろえて校長から学校に修正するというので、委員の皆さん、よろしいですね。

(異議なし)

○会長 それでは、項目5の取組の進め方につきましては、この案のとおりで答申をいたします。

項目6の学校施設のあり方、1か所赤のアンダーラインがあります。よろしくお願ひします。

○事務局 これは漢字表記が特徴的な表記だったため、一般的な表記に改めたものです。言葉は変わらないのですが、読み上げます。

◎学校統合に合わせて学校施設に新しい機能を盛り込んだり、外観を一新したりすることにより、子どもたちは、新鮮な気持ちで、新しく集った友達と新たな学校をつくるという意識を持ちやすくなる。また、関係者も前向きに学校統合に取り組むことができる。

以上です。

○会長 ここは学校独特の漢字の使い方であると御指摘いただいて、改めた部分です。修正の趣旨はみなさん御理解いただいていると思います。

よろしいですね。

(異議なし)

○会長 それでは、項目6の学校施設のあり方は、このとおりで答申といたします。

最後になりますけれども、項目7のその他取組を進めるにあたっての部分、ここは私たちの審議会の考え方として重要なところを指摘しております。修正が幾つかありますので、御説明をお願いいたします。

○事務局 かしこまりました。

修正があるのは、項目のうち《情報の発信》と《統合新設校に対する人的な支援》でございます。

まず、《情報の発信》の部分、前半の段落は読み上げを省略し、後半の「また」以降を読み上げます。

また、既に取り組を行った地域のアンケート結果を積極的に発信するなどして、学校規模適正化の意義や目的、その成果について積極的に周知を行い、取組に対する保護者や地域の方の関心を高めたり、理解を深めたりしながら進めることが望ましい。

続いて、《統合新設校に対する人的な支援》でございますが、こちらは、項目6の学校施設のあり方の修正と同様の修正で、「つくる」の表記を改めたものですので、読み上げについては割愛させていただきます。

以上でございます。

○**会長** 今、御説明いただきましたけれども、この《情報の発信》は、委員の皆さんから、非常に大切であるという御指摘を受けて、このような文言になっております。

改めてお読みいただいて、いただいた意見が十分に反映されているかどうか、確認していただきたいと思っております。

よろしいですか。

(異議なし)

○**会長** ありがとうございます。

それでは、項目7につきましては、このとおりに答申いたします。

今、一つ一つ確認をしてきましたが、6ページ目、項目3の検討対象校(対象となる学校)の一番下の記述、ここの「通常の学級」を「通常学級」に改め、他の部分についてはこれまでの審議を振り返り、ここにある最終案を答申として確定いたしました。

修正は事務局をお願いして、これを教育委員会に提出することといたします。

それでは、事務局から、今後の答申提出の流れについて御説明いただけますか。

○**事務局** 答申の提出について御説明いたします。

僭越ではございますが、事前に11月30日木曜日に関係者の予定を確保させていただいており、会長から教育長にこの答申書を提出いただきたいと考えております。

○**会長** わかりました。

今、事務局から御説明いただきましたけれども、委員の皆さん、答申の提出については、私にお任せいただくということによろしいでしょうか。

(異議なし)



○**会長** それでは、私が責任を持って教育委員会に提出することといたします。

本審議会で予定されていた議題はこれで全て終了となりますが、事務局から何か連絡等  
はありますか。

○**事務局** 会長、委員の皆様、本当にありがとうございました。

事務局から連絡はございませんが、本日が最後の審議会となりますことから、教育委員  
会学校施設担当部長から一言お礼を申し上げさせていただきます。

○**事務局** 学校施設担当部長でございます。

本日も朝早くからの御審議、大変お疲れさまでございました。

委員の皆様方におかれましては、本日も含めまして5回の審議会において熱心に御議論  
いただき、数々の貴重な御意見を賜りました。先ほど会長もおっしゃったとおり、答申書  
の文言を見て、ここは何々委員がおっしゃっていたなとか、ここはかなり議論になったな  
と思わせるほど、中身の濃い議論をしていただいたと思っております。

振り返りますと、今年の春に当審議会の委員就任をお引き受けいただきまして、約半年  
間で5回という、非常にタイトなスケジュールで進めさせていただきました。皆様方にお  
かれましては、会議だけではなく、普段の貴重な時間を割いて資料に目を通していただく  
など、色々と御協力いただき、そのおかげをもちまして、本日、このようにすばらしい内  
容の答申をまとめ上げていただくことができました。改めて心より厚く感謝を申し上げます。

本当にどうもありがとうございました。

答申書の手交につきましては、先ほどありましたとおり、会長から、明後日、11月30  
日に執り行う予定となっております。その後は教育委員会として、いただいた答申書に基づい  
て、新たな基本方針の策定作業に入っていくこととなります。

そして、この新しい基本方針に基づきまして、子どもたちのより良い教育環境づくり、  
ひいては皆様に愛される学校づくり、こういうものに是非とも繋げてまいりたいと考えて  
おりますので、よろしく願い申し上げます。

今回皆様には、学校規模の適正化という切り口で御参画いただいたところでございま  
すが、どうか今後とも、この件に限らず、札幌市の学校行政全般にわたって引き続き御理解  
とお力添えをお願い申し上げます。簡単ではございますが終わりにあたってのお礼の挨拶  
とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

○**会長** ありがとうございました。

それでは、審議会はこれで最後になりますので、委員の皆さんから、この審議会の感  
想、あるいは、今、学校施設担当部長からもありましたけれども、この答申を受けて今後  
の取組等に期待することなど、お一人ずつ、簡単に結構ですので、お話をいただければと  
思います。

○**委員** 今回、審議会に参加させていただき、本当にありがとうございました。

やはり子どもを持つ親としては、学級数が少ないほうが先生によく見てもらえると思う一方で、学級数が多くないと集団生活を学ぶにはどうかなという、その両方の面を考えると難しいところもあると、参加させていただいて思いました。

私自身も、この審議会に参加させていただいて、全然わからないことだらけで、勉強させていただくことがたくさんあって、これからの子どもの教育とか色々な面で役立つこともあったと思います。

本当に今回はありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

それでは、続いてお願いします。

○委員 私はいろいろ細かい意見や質問が一番多かったのではないかと思います。誠実に審議や回答をいただき、本当にありがとうございました。特に会長や副会長には、私の質問について、かみ砕いて表現していただくなど、フォローしていただきました。また、事務局の方は、最初に私はスピード化ということを行ったと思うのですが、早速このようなお便りをつくって全校に配布いただいたということで、本当に感謝しております。

どうも皆さんありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

続いてお願いします。

○委員 小学校が12学級未満、中学校が6学級未満で、クラス替えがなぜ必要かというのをここで学ばせていただきました。また、小学校の通学距離が2キロ、中学校が3キロぐらいで、それ以上になったら、必要に応じてスクールバスが導入されるということもここで初めて知ることができました。

厚別北小学校は1学年4クラスあるのですが、先日の学習発表会でライオンキングの演目を見たとき、大人数でやることによって、迫力のある、ダイナミックな演技を見ることができて、子どもたちが集団の中で生き生きするというを実感することができました。やはり少ない人数よりも多くの人数でやるほうが、切磋琢磨して素晴らしいものができること、子どもの可能性をより伸ばすこともできるということを改めて感じることができました。

それから、児童会館、まちづくりセンターなどの複合化もこれからどんどんされてきて、より便利で身近なものが地域で活用できることも必要だと感じました。

伝統校が統合化によってなくなるというのも寂しいものですが、地区に一つは学校を残していただきたいというのが素朴な希望でございます。

いろいろな組織の方の声を聞いて、本当に勉強になりました。ありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

続いてお願いします。

○委員 正直なところ、この場で発言することがすごくプレッシャーで、どきどきしてい

たのですが、PTAの代表ということで、活動を通して感じている保護者の目線で色々と発言させていただきました。結構、思いつきで言ったこともいろいろと拾っていただきまして、本当にありがとうございました。

それと、以前にもお話ししたと思うのですが、札幌市PTA協議会では、今、各学校のPTAの皆さんからいただいた要望をまとめる作業をしております。その中で、学校の統廃合とか校区の見直しはもちろんですが、中学校では、やはり部活動や教科担任の問題とか、小学校は学校に児童館をつくってほしいという要望もいろいろ上がってきております。この適正配置が進むことによって、そういった要望も一つ一つ解消されていくことを期待したいと思っております。

短い間ではありましたが、私にとってもすごくいい経験になりました。どうもありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

では、続きましてお願いします。

○委員 担任時代、統合と開校を経験している私が、この委員会に加わる機会をいただきまして、それは偶然ではあるのですが大変ありがたい機会だったと振り返っております。

実際、適正化を進めるには多くの方の負担や時間がかかるということを改めて知ることができましたし、それを加速化させるような見直しをすることで、子どもや保護者の不安感を無くすことにもつながる、これは大切なことだと思っております。

最終的な当事者は子どもであり学校であると思っておりますので、本当に、子どもたちにとって、また、学校にとって、適正化がより価値のあるものになるように、様々な御配慮をいただいたと思っております。特に施設面であるとか人的な配慮について御配慮いただいたことは本当にありがたいことで、しかも、最近、その具体的な取組が学校に来る通知文中でも伺えましたので、重ねてありがたいことだと思っております。

本当に今回はいい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

続いてお願いします。

○委員 第1回の審議会で申し上げたかと思いますが、例えば情報発信のあり方とか通学安全、とりわけスクールバスなど慎重に検討すべき点についてお話しできる機会をいただけて、大変ありがたかったです。

個人的に一番ショックだったのは、やはり検討期間が延びているということです。関係者のお話は聞く必要はありますが、非常に差し迫った状況の中、当初3年だったが5年、6年と検討期間が延びていることについて、その改善に自分自身が関わったこと、大変ありがたく感じております。

どうもありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

続いてお願いします。

○委員 私は2回目から参加させていただいたのですが、今回関心したのが、事務局の進め方についてです。このような会議に参加する機会は多いのですが、資料を当日渡されて、はい、見てください、はい、結論を出してくださいという、大体そういうスタイルが多くて、本音は余り検討させたくないのだなと感じられるときもあります。一方、この審議会は2週間以上前に資料を送っていただいたおかげで、事前に十分チェックでき、そして自分の考えを整理して当日参加できたこと、それと会長と副会長がスムーズに我々の意見を取り上げてくれる、そういう運営をしていただいたこと、私自身、こういう会議もあるのだと勉強になりました。

今回はどうもありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

ではお願いいたします。

○委員 今、色々な皆さんのお話、短い期間と言いながらも、春、夏、秋、冬と過ごしてきて、皆さんの服装も随分変わったなと思いながら伺っておりました。

私自身は小規模校に勤めたことがなかったので、色々な難しさのある、大きな課題の一つであるということを改めて考えさせていただきましたし、学校のあり方というものも、今後どうあるべきかということを考える機会にもなりました。

また、事務局の方々にも大変多くの資料を御用意いただいています、毎回、読み込むときに、いろいろな、新鮮な感動とか発見がございました。

様々な御経験、立場の方々のお話を伺う中で考えることができたのは、本当に貴重な機会をいただいたとも思っております。

私自身は、中学校という立場で色々考えたことをお話しさせていただきましたが、本当に当事者である子どもたちにとって、より望ましい教育環境と教育活動の保障につながる事ができればと願って、今日を迎えたところでございました。

色々なお話を伺えて、本当にいい機会を与えていただいたと思っております。ありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

続いてお願いいたします。

○委員 審議会に参加させていただきまして、本当にありがとうございました。

事務局からいただく資料ですとか、あるいは、この審議会の中で皆さんの御意見をお聞きして、なるほどとか、そうだなと思うことが随分たくさんありました。

本当に私自身も貴重な経験をさせていただいたと思っております。

私がこの審議会に参加させていただいているのは、真駒内地区で統合を経験しているからですが、真駒内で閉校、開校を経験させていただいて、その新しい学校が開校したときに入学した子どもが、今は6年生になっていて、間もなく卒業しようとしています。私自身は、手前味噌になりますけれども、真駒内公園小学校はいい学校だと思っています。自

分自身も開校に関わらせていただいて、今は外から見る立場ですけれども、いい学校になってくれています。これからも学校規模の適正化で新しい学校ができて、私のいた真駒内公園小学校のような、楽しい、素敵な学校がたくさんできて欲しいと思っています。

この審議会で貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。

最後ですが副会長、お願いいたします。

○副会長 どうも皆さん、お疲れさまでした。

私も、こういう場に来るのは初めてなので、最初のうちは、なぜ課長や係長がうちの大学に来て、僕を指名したのがよくわからなかったのですが、何回か回を重ねるうちに、ようやく、なるほどと思うようになりました。やはり都市計画の将来像とか、それから膨張するだけの地域だけではなくて、縮小する地域もあるということと、その中で、子どもたちの教育環境もきちんとリンクさせて考えていかなければいけない、学校規模の適正化は都市計画の中の一つの大きな課題だということが、私自身がこの場で正直勉強になりました。非常に感謝しております。

それと、手稲区では小学校全16校あって、ていね夏あかりという、子どもたちの手づくり提灯を毎年約1万個、2時間半だけ灯すイベントを通じて小学校と関わりがあったのですが、最近、この審議会の委員になってから、地域の町内会のおじいちゃん、おばあちゃんたちが中心になって頑張っている餅つき大会というのが色々な地区で開催されていることがわかって、それに大学生の若い力、特に杵をつく、餅をつく力をかしてくれないかというオファーがありました。高齢化すると、子どもたちのために餅をつく大人たちもだんだん減ってきているということがわかって、先日は稲陵中学校に行きましたし、12月3日は前田北小学校に行くのですが、何と子どもたちが300人、500人規模で集まります。これはすごいことだと思っています。

この委員をやることによって、また違った形で私も御縁が生まれて、小学校とか、特に地域と学校のつながりの深さや必要性が、私自身もだんだん理解するようになってきました。やはり学校というのは地域にとってはとっても大事な存在であり、それを支えているのは地域の方々やPTAだけではなくて、おじいちゃん、おばあちゃんも一生懸命学校や子どもたちを守っている、その姿を餅つき大会で感じて、感動してきました。

当大学は手稲区にある大学ですけれども、いろいろな意味で地域との関わりを、特に学校と、中学校も含めて、これからも大事にしていきたいと思っていますので、何とぞ北海道科学大学のこと、よろしくお願いいたします。

ちょっと宣伝になりましたけれども、本当にありがとうございました。しっかり勉強になりました。ありがとうございます。

○会長 今、委員の皆さんからのお話を、すごく嬉しく思いながら伺っておりました。委員の皆さんは、審議会の委員として、本当に真摯に子どもたちの状況に向き合い、そして積極的に審議に御参加いただきました。そのことが本当にありがたかったなと振り返り、

感激しているところです。

皆さんの御協力のおかげで、まだ答申の提出は残っていますが、私も会長という大役を果たすことができ、嬉しい思いでいます。ありがとうございました。

審議会は、本日をもって閉会となりますが、ここで検討した様々な内容や委員の皆さんの想いは、教育委員会の皆さんにしっかりと受けとめていただいて、今後の取り組みに生かしていただければありがたいと思っております。

また、委員の皆さんにおかれましては、今日で審議会は終了しますが、札幌の子どもたちの未来の健やかな成長、そして教育効果がしっかりと現れる、そういう札幌市の取組を今後とも見守っていただければ大変ありがたいと思っております。

それでは、これをもって札幌市立小中学校適正配置審議会は閉会といたします。

皆さん、半年間どうもありがとうございました。（了）